

わたり病院は、経済的理由による差別を医療に持ち込まないために、差額ベッド料金はいただきません。

ふくしま



医療生協

2013年3月号 第344号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://www.fmc.u-coop.or.jp>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1

2011年3月11日から2年

福島で生きる 私たちのいま

震災・原発事故により多くの人の生活が一変しました。それにより失った絆や生きがい、生活はそれぞれにあります。あれから2年が経ち、悩み・不安に過ごした日々から抜け出し、再び暮らしを立て直す努力と支え合いが大切です。

家族みんなで協力して いかなくちゃ

伊達市霊山町に住む
菅野 サダ子 さん

「いつになったらまた家族写真が撮れるだろうか…」
伊達市霊山町小国地区に住む菅野サダ子さんは震災の年のお正月に撮影した家族写真を見て言います。

菅野さんの家族は、お盆と正月は決まって菅野さん、子、孫、曾孫、玄孫の五世代が小国の自宅に集い家族写真を撮るのが恒例でした。しかし原発事故以降それができなくなりまして。



二〇一一年のお正月に撮った家族写真
(後列右から四番目が菅野サダ子さん)

(取材・文／
組織部 中嶋)

小国地区には放射線量が高い地点があり、そこは政府指定の特定避難勧奨地点になっていました。昨年十二月に指定は解除されましたが、現在(二〇一三年一月時点)も小国地区では除染作業が続いています。菅野さんの自宅も年明けから除染が始まりました。家族会議の結果、県内外に避難している玄孫がまた来られるようにと庭木の多くを切り落とすことになりました。

菅野さんも「この家に嫁いだ時から立っている木を切りた

どなたでも参加できます！

原発のない福島を！ 県民大集会

- 日時 2013年3月23日(土)
(10:00開場)11:00～15:00
- 場所 あづま総合体育館(福島市)
- HP <http://fukushima-kenmin311.jp/>

みんながつらい 思いをした福島から 「原発NO!」の思いを 全国に伝えたい!

職員の
大澤 由記 さん

毎週金曜日、街なか広場で金曜行動を続けている医療生協わたり病院職員の大澤由記さんより原稿を寄せていただきました。



街なか広場での金曜行動の様子

震災から一年が過ぎたころ、目の前の対応に追われているだけでは自分たちの置かれている状況は変わらな
いと感じていました。そんな時、官邸前に約二十万人が集まったデモを知りとても感動しました。自分も官邸前に行きたいと強く思いましたが、この行動に賛同して小さなデモが全国各地で行われていることを知り、自分も福島で声を上げたいと考えました。

七月に福島市で行われたデモに参加し、主催者の若者たちに福島でも行動しようと呼びかけ、私たちの金曜行動は始まりました。

しかし、福島は官邸前などとは違う複雑な心境があると感じます。強い口調でのシブレットコールやスピーチで訴えても、道行く人々からの共感は少ないと考え、楽器や鳴り物を持ち寄り少し優しいアピールにするなど工夫しました。

現在は、太鼓のリズムに合わせながらコールをするスタイルでアピールをしています。
政権が交代し、原発再稼働を掲げる政府に対し、みんながつらい思いをした福島だからこそ、「原発NO!」の思いを全国へ発信して行きたいです。皆さんもぜひ一緒に声を出しませんか?
毎週金曜日18時～19時
(途中からの参加、終了前の離脱OK!)街なか広場

わたり病院の病棟 この5月から 大きく変わります

病棟改修工事のお知らせ



医療生協わたり病院
事務次長
庄司 三法

この三月から五月初めに
かけてわたり病院の病棟の
大幅な改修工事を行います。
工事期間中は、患者・組合員
のみなさまには大変なご不
便とご迷惑をおかけするこ
とになります。四つの病棟が新しい役割をもって生まれ変わ
ります。ごつかがご容赦願います。今回の改修工事の目的は次の
とおりです。

1、研修医をはじめ、県北地
域の地域医療を担う医師
を養成するため、内科を南
四階、南三階に集約し、診
療体制を強化すること
です。

震災・原発問題で地域医
療を担う医師の減少が進
みました。これを克服する
ためには、地域医療を担う
医師を確保・養成しなけれ
ばなりません。そのために
は、初期研修医の教育体制
を強化しなければなりま
せん。そのために南四階病
棟を中心に内科病棟の研
修機能を強化します。

2、回復期リハビリ病棟を増
床し、リハビリ医療を充実
強化することです。

リハビリ医療分野はわ



たり病院の進ん
だ分野です。専門
医二名、リハビリ
技師四十名の体
制でさらに病床
を増やし、地域の
要望にこたえま
す。

3、今回新たに緩和ケア対応
の病棟(十五床)を新設し
ます。

緩和ケアとは治療が困
難となったがんなどの悪
性腫瘍を患った患者が、最
後まで、その人らしく、尊
厳をもって、有意義に過ご
すことができるように援助
していく医療です。その
ため緩和ケア病棟では、身
体的な苦痛を取り除くた
めの治療を行うだけでな

2012 年度内に年間目標をやりきろう!

組合員ふやし 1,000人まであとわずか
出資金ふやし 10年間で最高の到達
機関紙配布率 70%に向上

2012年度は「医療生協の魅力を語って、組合員と手配りさんを増やそう」をスローガンに生協強化月間に取り組みました。2月15日現在組合員ふやしは、5支部と本部事務局が目標を達成、5支部が8割目標を達成し、1,000人達成まで残りわずかとなりました。出資金ふやしは、7支部とクリニックさくらみずが年度目標を達成、8支部が8割目標を達成し、支部合計でも目標の9割を超えています。これは全体としても過去10年間で最高の到達になりました。機関紙配布率の向上にも取り組み、配布率90%を超える支部が6支部、80%を超える支部が4支部になり、全体としてほぼ70%に到達しました。

今年度も残りあとわずか。安心して住み続けられる地域づくりと第6次長期計画を前に進めるために、組合員加入と増資にご協力をお願いいたします。

健康チャレンジ2012報告 570名が挑戦!



今年の健康チャレンジは、「寝起きにコップ一杯の水を飲む」、「ウォーキングをする」、「ラジオ体操をする」に挑戦した方が多く、取り組みやすく気軽にできるものが選ばれていました。

チャレンジ後のアンケートで「体調の変化がみられた」との回答は全体の6割で、30日間続けることで「目覚めが良くなった」、「体重が減った」など変化が現れた方がいらっしゃいました。「今後も続けようと思う」との回答は9割以上と、健康づくりのきっかけにもなったようです。

引き続き健康づくりに励んでください。応援しています!(保健委員会)

《健康チャレンジ2012》(2013年1月31日時点)
申込み: 570名、記録用紙回収: 356名 回収率: 62.5%

※記録用紙の提出をお忘れの方は郵送またはFAXで提出してください。
〒960-8141 福島市渡利字中江町66 福島医療生協 組織部 宛、FAX 521-3475まで

わたり福祉会の紹介

すべては地域の要求から始まった



わたり福祉会
総務部長
板橋 修 さん

わたり福祉会は一九七九年に社会福祉法人として認可されました。

福島医療生協は、ファルマプラン・わたり福祉会と三者一体で事業と運動などを進めています。医療・介護で連携しているわたり福祉会について、板橋修総務部長に伺いました。

内は保育園が不足して
いました。特に〇才児か
ら子供をあずけられる
保育園がわずかしかあ
りませんでした。女性の
社会進出が増えるなか、
職場復帰と就労支援のため
に、福島医療生協関係者や
地域のみなさまの力が結集



2010年 さくら保育園新園舎完成

され「さくら保育園」(一九八〇年四月)が開園しまし
た。その後、国の医療制度、



ナロージチ地区中央病院
まん中は今なお子どもの健康問題の苦勞を
話すマリア院長。左は原発と太陽光発電の
両者を発展させたいと語る副区長。

「二十六年を経たウクライナ・チェルノブイリの今の姿は福島将来なのか」これは今回の視察ツアー参加の大きな目的でありました。しかしちがいの方が目につく結果でした。汚染地域の住民は食物が

チェルノブイリでの健康被害は日本でも繰り返されるのか

全日本民医連 チェルノブイリ原発ドイツ環境政策視察ツアー 参加報告 最終回

視察のまとめと 今後の私たちの取り組み



生協いの診療所所長
医師 松本 純



質素に暮らす農村部とは対照的に車と
コマーシャルにあふれた首都キエフ市

らの内部被ばくを受け続けてきたようです。福島でもチェルノブイリの悲劇をくり返すか否かはこれからの取り組み如何にかかっていると云えます。

このような一方で、ウクライナは今では電力の四〇％を原発に依存しさらに増設・新設をめざしているようです。貧富の差や都市と農村の分離といった社会構造の矛盾をかかえていることが垣間見えました。

ドイツの視察では再生可能エネルギーの開発によって原発は可能であること、それには住民運動と民主主義の発展が重要であることを学びました。

安心して住み続けられる福島を取りもどすために

今年の冬は近年にない大雪に見舞われた福島県ですが、ようやく住宅地での除染に入ってきました。除染に伴って仮置き場など多くの問題が出されています。それらを一つ一つ解決に向けて取り組む中に安心安全な福島を取りもどす道筋が見える

思います。私たちも、日本生協連・民医連の援助を受けてホールボディカウンターの導入を成功させたいと思えます。チェルノブイリでは四年後から子供の甲状腺がんが多発したことが国際的にも認められており来年はその四年目を迎えます。福島市医師会の呼びかける「地域で気軽に受けられる甲状腺エコー検査体制づくり」には私たちも協力していきたいと思えます。

東日本大震災・原発事故は現在進行形

あの3・11からまる二年が過ぎました。避難指示となつた十万人からの人々の避難生活はなお続いています。原発事故は「収束」していません。「現在進行形」です。この間に総選挙があり安倍政権が再登場しました。低

インフォメーション 3月

松本純医師講演会のお知らせ

原発事故から3年目
あらためて、放射線問題への取り組み
～チェルノブイリを訪ねて～

日時 3月17日(日) 13:30～15:30
場所 伊達市保原中央公民館
参加協力費 300円
主催 憲法九条を守るだて女性の会

食品への不安を取りのぞくために

あづま支部 河野 恵夫

家庭菜園作物の放射線量は心配ないのか？ あづま支部では春夏秋冬を通して食品放射線量を測定しようと、これまでに4回実施、86点の作物を計測してきました。測定は原則9時30分から16時まで。作物は、自家菜園のもの、無人スタンドのものなどです。野菜や果物は皮付きと皮をむいた場合。玄米と精米、水洗いした場合など、線量の変化を詳細に調べてきました。

作物を持参すれば、計測過程の全てを見ながら結果を知ることができますし、作物も持ち帰れますので、無駄にもならず好評です。測定結果は、支部ニュースに全ての結果を掲載、報告してきました。

食品への不安を、マスコミは「風評被害」と言いますが、「風評」とは「根拠のない噂」のことです。放射線量を心配するのは「風評」でなく「原発被害」と言うべきでしょう。

セシウムは、今後、何年も(何十年も)測定を継続していく必要があります。西ブロックでは鳥川・平田支部、大森・永井川支部でも測定を行いました。点から線へ広がることで、吾妻地域と信夫地域の作物の安心感がより確かなものになることでしょう。

他のブロックでも取り組まれ、福島市内の食品について、医療生協から発信できるようになるなら、市民にとってこれほど嬉しいことはないでしょう。



かつた投票率とともにこれまでになく白票や無効票が多く、国民の支持を得ての政権とは言えません。「原発ゼロ」の日本をめざす運動の広がりがあります。重要になってきたものと思えます。



ドイツの環境運動家との交流会

改悪と高齢化社会の進行に伴い、病院と在宅の間でリハビリや療養を支援する施設の必要性が高まります。高齢者が安心して住み続けられる地域づくりを目的に、一九九六年「老人保健施設をつくる会」が結成され、一九九八年四月に「老人保健施設はなひらの」がオープンしました。

と各施設の建設にあたって「つくる会」が結成され地域の方々のお力を頂きながら完成させてきた経過があります。「つくる会」の賛同者を中心に「友の会」が結成され、わたり福祉会を引き続き支援してくださっています。二〇〇四年に「友の会」は「はなネット友の会」に名称を改め「はな」の輪を広げています。今回は、最近の活動の様子やこれからの新規事業についてお伝えしたいと思います。



2日間で参加者は130人を超え、賑やかなお茶会となりました。

福島医療生協はこれまで、飯野町にある飯館村仮設の訪問やお茶会の開催、仮設のみなさんを健康まつりにお誘いしてきました。一月三十、三十一日（杉妻学習センター）、飯野支部と親交が深く、飯館村村議会議員の佐藤八郎さんの仲介で、飯館村社会福祉協議会が主催するお茶会に参加させていただきました。借り上げ住宅の方々を対象の支援は、福島医療生協としては初めての試みです。

参加者は二日間で百三十人を超え、賑やかなお茶会となりました。二か月に一度、健康をテーマにした学習を行いながら開催していきます。保健師が血圧測定、健康相談も行っています。ほとんどの方々が万歩計を持参し、記録していました。年齢層は六十〜八十代で、男性の参加者が多いのが特徴です。そんな中今回、医療生協わたり病院から管理栄養士の椋木深雪さんと菅野妙子さんが、借り上げ住宅での食事と栄養について、健康講話を行い、参加者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。

飯館村社協では借り上げ住宅にお住まいの方々を福島市方部、伊達方部、川俣方部、相双方部の四方部に分けています。今回のお茶会は福島市方部でしたが、残り三方部でもお茶会に参加し、福島医療生協として少しでも借り上げ住宅のみなさんのお役に立っていききたいと思えます。

飯館村支援 借り上げ住宅のお茶会に参加

組織部 三浦真弥

無料 法律相談会

- 日時 3月14日(木) 13:30~15:30
4月11日(木) 13:30~15:30
- 場所 医療生協わたり病院内 事前申込制 Tel. 522-1236
- 相談員 深谷 拓弁 護士(あぶくま法律事務所所属)

サービス付き 高齢者向け住宅 ひだまり

4月1日より入居申し込み受付が始まります。

入居決定は先着順ではありません。

サービス付き高齢者向け住宅とは
必要な医療・介護サービスを受けながら安心して生活して頂くための「住宅」です。医療生協わたり病院との連携の下、入居者の方の豊かな暮らしのお手伝いをさせていただきます。

【施設概要】

- ◆重量鉄骨造り 3階建て
- ◆居室数 48室
- ◆入居対象 60歳以上、介護認定を受けている方
- ◆1階にヘルパーステーション、デイサービスセンター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設。わたり病院からの往診が可能



【利用料】

家賃	31,000円
共益費	15,000円
サービス費	10,000円
食費	42,000円(30日分)
家具リース	2,400円(30日分)
小計	100,400円

※その他、介護保険利用料、医療費、居室電気代、洗濯代、日用品費などを加えたものが1ヶ月あたりの総生活費になります。

●問合せ・ご相談は
高齢者住宅準備室(福島医療生協本部事務局内)
Tel.522-1236(担当:松崎)

転居の時は 医療生協に連絡を

3月は移動の多い月です。就職や転勤などで住所を変更される組合員さんは、お近くの班長、支部長または医療生協まで連絡をお願いいたします。

電話 522-1236 (組織部)

医師・看護師をめざすみなさんをバックアップ!

医学生・看護学生 奨学生募集中

医療生協わたり病院では、全国の医大・医学部、看護大学、看護専門学校に入学される方、在学中の方を対象に奨学生を募集しています。入学金相当金額の貸付制度もあります。お気軽にお問い合わせください。

医学生	看護学生
月額 15万円	月額 6万円
(特別対応あり)	

※どちらも貸与を受けた期間と同じ長さの期間勤務すれば、返還は免除されます。

お問い合わせ先

- ☆医学生☆ 医療生協わたり病院 医局事務課 Tel.521-2056
- ☆看護学生☆ 医療生協わたり病院 看護長室 Tel.521-6848

けんこう豆知識クイズ

正解者 5名様にプレゼント!

保健師室 プレゼンツ

第4回 ひざの痛みの対処法は?

中高年になると、膝の痛みを感じる人が増えていますが、その原因の多くを占めているのが「変形性膝関節症」です。原因の多くは、肥満やO脚、加齢です。

◆問題 次にあげたのは「変形性膝関節症」の対処法です。間違っているものを一つ選んでください。

- 1.椅子に座って太ももに力を入れながら、片足ずつ上下させる運動を続け、太ももの筋肉を強化する
- 2.足底板を使ってO脚を矯正し、膝の負担をへらす
- 3.杖は足の筋力を弱めるのでなるべく使わない

●第3回の答え ①48時間(2日)以内に5日間飲み続ける

抗ウイルス薬(タミフル)は、インフルエンザウイルスの増殖をおさえる薬です。症状が発現してから48時間(2日)以降の服用は効果が期待できません。また、服用して1日〜2日くらいで症状が軽減しますが内服をやめると耐性ウイルスができてしまいます。必ず5日間最後まで飲み続けて下さい(10歳以下の方はリレンザが処方されます)。

当選者 久能正博さん 伊藤治子さん

なかよしこけし一筆箋
プレゼントは機関紙の作成と印刷をしていただいている御第一印刷様のオリジナル商品です。(300円相当)

住所・電話番号・氏名を忘れずにご記入ください。

応募あて先/福島医療生協 本部事務局 保健師室「けんこう豆知識クイズ 係」
応募締切り/3月19日(火) ※応募者多数の場合は抽選いたします。当選者は4月号に掲載します。